

2024年度 IWIP 国際溶接検査技術者 特認コース募集要項

1. 応募方法（申請に必要な書類の準備/提出）

応募者は以下の＜応募申請書類＞を JWES-HP よりダウンロードして準備し、J-ANB 事務局へ上記期間内に提出してください。なお、応募者が少なく、試験実施が困難な場合は、次来年度以降に延期される可能性があることを予めご承知おきください。

★受験応募受付期間：2024年4月1日（月）～5月31日（金）

＜お問い合わせ先＞（一社）日本溶接協会 事業部 J-ANB 事務局（立花）

E-mail： tomoyuki_tachibana@jwes.or.jp

TEL： 03-5823-6325 FAX： 03-5823-5211

＜応募申請書類＞ 応募者は以下の①,②,③の書類を記入し④の資格の写しと併せ、ご提出下さい。

- ①「受験申請書」
- ② 表1の学歴を満たす「学歴記入表」「卒業証書（学位記）の写し」又は「卒業証明書」
- ③ 表1の職務経歴を満たす「職務経歴証明書」
- ④ 表1の資格を満たす溶接資格のデイトマ又は適格性証明書及び非破壊検査資格(JSNDI)の写し

表-1. 資格の種類に対応する受験条件（学歴、職務経歴、必須保有資格）

受験資格レベル	受験条件			
	学歴	職務経歴	溶接資格	非破壊検査資格（JSNDI）
IWI-C	工科系短大(修業2年以上)、又は工業専門学校(修業2年以上)の卒業生。	直近4年間で、IWI-C相当の業務経歴が3年以上。	IWT or IWE or WES 特別級	最少(限)レベル2又はレベル3の2資格(但し1資格はレベル3かつ1資格は体積検査、1資格は表面検査)
IWI-S	工科系高等学校、又は工業系高等学校、又は職業訓練高校、又は溶接工科大学(修業3年以上)の卒業生。	直近3年間で、IWI-S相当の業務経歴が2年以上。	IWS or IWT or IWE or WES1級	最少(限)レベル2の2資格(但し1資格は体積検査、1資格は表面検査)
IWI-B	で、年齢は20歳以上の者、又は上記以外高等学校の卒業生で、年齢は20歳以上、溶接の実務経歴5年以上を有する者。	直近2年間で、IWI-B相当の業務経歴があること。	IWP or IWS or IWT or IWE or WES2級	最少(限)レベル1の2資格(但し1資格は体積検査、1資格は表面検査)

2. 必須受講コースの受講 2024年7月5(金),6(土),11(木),12(金),13(土),18(木),19(金),20(土),26(金),27日(土) 場所：日本溶接技術センター(川崎市)

全ての応募者(受験者)は、上記受験条件を満たした後、本特認コースに必要なI/W履修ポイントを取得する必要があります。このため、以下のコースを受講する必要があります。

(1)外観検査(VT)コース (2)未取得のNDI資格のコース(*) (3)理論・実技試験対応コース

(*)受講コースの例：相応するRT及びPTの資格を保有の場合、UT及びMTのコースの受講が必要です。

3. J-ANBによる書類審査

受験者から提出された関係書類の妥当性、客観性などについて審査し、審査通過者にはプロフェッショナルインタビューの詳細日時・場所を案内します。

4. プロフェッショナルインタビュー(PI) 2024年9月14日(土)場所：日本溶接協会

受験者の溶接技術の知識の修得レベルについて審査し、審査通過者にはプロジェクトワークの課題と日程(9月下旬から)を案内します。

5. プロジェクトワーク (Project Work : PW)

知識の応用力、問題解決能力を調べるため、指定されたテーマに対して各自が予習し、数名のチーム編成によるケーススタディを行います。予習報告書、最終報告書及びケーススタディでの発表の内容が審査・評価されます。なお、テーマは受験者の経験・現職務内容と一致するとは限りません。

① 予習報告書の作成：予習期間は2024年9月下旬～10月中旬の間の約4週間

J-ANBより配布されたプロジェクトワーク案内に基づいて予習を行い、その結果を予習報告書

としてケーススタディの前に J-ANB へ提出します。

- ② ケーススタディ (集合研修形式) 日程: 2024年10月24日(木), 25日(金), 26日(土)

場所: 大阪大学接合科学研究所(茨木市)

3日目の後半に簡単な報告書の作成と発表を行います。

- ③ 最終報告書

ケーススタディ終了後, 2週間以内に最終報告書を J-ANB 事務局へ提出する必要があります。

6. 最終試験

最終試験は, 理論試験と実技試験を行います。

- ① 理論試験 (溶接技術(WT)モジュール及び溶接検査(WI)モジュールで構成される)

・ 日程: 2024年11月22日(金)午後及び23日(土) ・ 場所: 日本溶接協会

・ 試験時間: IWI-C: 2.5時間, IWI-S: 2.5時間, IWI-B: 3.5時間,

注) IWI-Cの受験者は上記の3試験(IWI-C/S/B)を, IWI-Sの受験者は上記の2試験(IWI-S/B)を, IWI-Bの受験者は上記の1試験(IWI-B)を受験する必要があります。

- ② 実技試験 (パート A, B 及び C で構成される)

・ 日程: 2024年12月14日(土) ・ 場所: 日本溶接協会又は日本溶接技術センター

・ 試験時間: IWI-S: 4時間, IWI-B: 2.7時間,

注) IWI-C 及び IWI-S の受験者は上記の2試験(IWI-S/B)を, IWI-Bの受験者は上記1の試験(IWI-B)を受験する必要があります。

7. 合否通知, 登録及び履修証明書 (ディプロマ) 発行

・ 合否通知: 2024年12月末

・ 登録期間: 2025年1月中旬迄

・ 履修証明書 (ディプロマ) 発行予定: 2025年2月上旬以降

8. 受験料, 登録料及び総額

- ① 受験料: 申請時に納入: 書類審査, 必須受講コース, PI, PW 及び最終試験

受講する必須受講コース数	2コース	1コース	受講なし
受験料(円)	318,900	289,900	261,900

- ② 登録料: 合格後に納入: 登録及び証明書 (ディプロマ), 携帯用の証明書(プラスチックカード)発行料
24,620円 (消費税 10%込み)

- ③ 総額

受講する必須受講コース数	2コース	1コース	受講なし
総額(円)	343,520	314,520	286,520

9. 再受験*

※やむ終えない事情により最終試験を受験しなかった場合, 又は当該年度で特定のモジュール/パートが不合格の場合, 15ヶ月以内の再受験が可能で, 次年度の最終試験で当該のモジュール/パートを再受験する権利があります。詳細は, J-ANB 事務局へお問合せ下さい。

10. 提訴*

※認証の決定に異議を申し立てる者は, 決定通知の日より 60日以内に, J-ANB 委員会に書類を付して提訴することが出来ます。詳細は, J-ANB 事務局へお問合せ下さい。

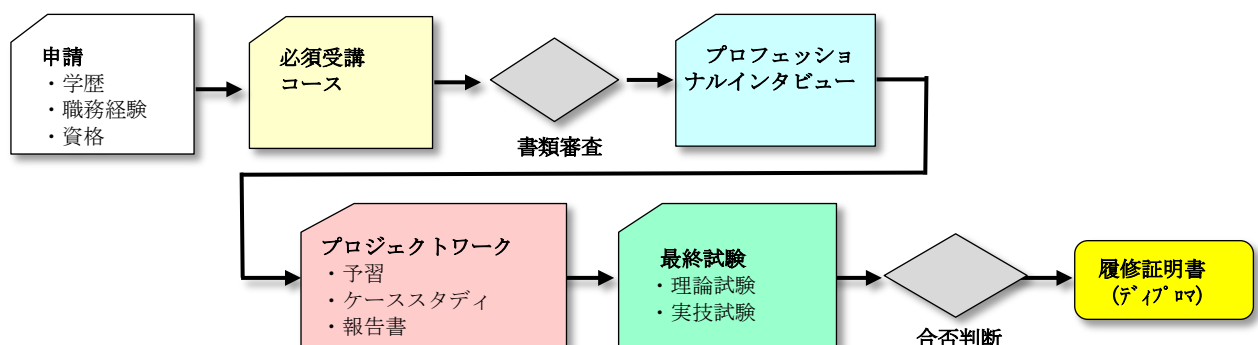


図 1 特認コースの流れ

新規開講

IIW 国際溶接検査技術者 資格制度

「IWIP 特認コース」2024年度受験案内

IIW 資格日本認証機構（J-ANB）事務局

1. IWIP（International Welding Inspection Personnel）特認コースとは？

「特認コース」とは、IIW 資格制度の日本における実施機関として、唯一認定された IIW 資格日本認証機構（以下 J-ANB）が実施する IIW 国際溶接検査技術者（IWIP）資格を取得するためのコースの一つです。

IIW 国際溶接検査技術者資格には、IWI-C（International Welding Inspector-Comprehensive Level）、IWI-S（同-Standard level）及び IWI-B（同-Basic Level）の3種類の資格があります。

この「特認コース」は、それぞれの資格に相当する知識を、前もって修得していることを証明することで、長期間の教育を受講することなく最終試験に進むことができるコースです。知識を修得していることの証明は、「IIW 履修ポイント」と呼ばれるポイント数が規定値以上であることを示さなければなりません。

IIW 履修ポイントが規定値以上であること、学歴及び業務経験年数の受験条件を満足していることが確認された後、プロフェッショナルインタビュー、プロジェクトワークに進み、最終試験に合格すれば IIW 国際溶接検査技術者資格を取得することができます。

2. IWIP 資格の取得意義

欧州の政府や企業が関係する溶接工事・製造案件の受注や工事の遂行において、仕様書に IIW-IWIP 資格者による溶接品質の確認が必須条件と明記されるケースが多く見受けられます。

この要求事項がない場合でも、工事仕様書に「溶接工程における品質管理は IIW-IWIP 資格者が実施すること」と明記することで、客先に対して信頼感を与えるという「アドバンテージ」があります。

3. IWIP 特認コースの受験に必要な条件とは？

IIW 国際溶接検査技術者資格（IWI-C、IWI-S、及び IWI-B）の受験条件を表-1.に示します。

表-1. 資格の種類に対応する受験条件

種類	受験条件（アクセスコンディション）
IWI-C	① 工科大大学及び短大(修業2年以上)、又は工業専門学校(修業2年以上)の卒業生。 ② 受験前の直近4年間で、IWI-C 相当の業務経験が3年以上。 ③ IIW 履修ポイントが IWI-C の規定値以上。
IWI-S	① 工科系高等学校、又は工業系高等学校、又は職業訓練高校、又は溶接工科大学(修業3年以上)の卒業生で、年齢は20歳以上の者、又は上記以外高等学校の卒業生で、年齢は20歳以上、溶接の実務経験5年以上を有する者。 ② 受験前の直近3年間で、IWI-S 相当の業務経験が2年以上。 ③ IIW 履修ポイントが IWI-S の規定値以上。
IWI-B	① IWI-S の①と同じ学歴。 ② 受験前の直近2年間で、IWI-B 相当の業務経験があること。 ③ IIW 履修ポイントが IWI-B の規定値以上。

4. IWIP 特認コースに必要な IIW 履修ポイントとその取得方法

表-2.に資格の種類に対応する必須保有資格及び必須受講コースを、表-3.に各技術分野の詳細と必要なポイントを示します。表-3.に示す溶接技術(WT)モジュールの4分野(サブモジュール:SM)及び溶接

検査(WI)モジュールの各 SM において、IIW 国際溶接検査技術者に要求されている知識を、IIW 履修ポイントとして小計の50%以上を取得していることが受験条件の1つとなります。

これらのポイントは、以下により取得することができます。

受験者が、JIS Z 3410/WES 8103 による WES 溶接管理技術者資格者及び JIS Z 2305 による JSNDI 非破壊検査資格者であり、かつ J-ANB が承認した外観検査コース、未取得の資格の非破壊検査(NDI)コース及び理論・実技試験対応コースを受講した場合、各 SM の履修ポイントの50%以上が与えられ、受験申請できます。WES 溶接管理技術者資格者及び JSNDI 非破壊検査資格者であっても、前述のコースを受講しないとこれらの50%以上のポイントを獲得できず、受験不可となります。

受験者は、図-1.に示す IIW 履修ポイントの規定値を満足し、学歴と職務経験年数の条件を満足すれば、相応する IWIP 資格の受験が可能です。

表-2. 資格の種類に対応する必須保有資格及び必須受講コース

受験 IWIP 資格	必須保有資格		必須受講コース		
	溶接資格	非破壊検査資格(JSNDI)	外観検査(VT)	非破壊検査(RT/UT/PT/MT)	理論・実技試験対応
IWI-C	IWT or IWE or WES 特別級	最少(限)レベル2 又はレベル3 の2 資格(但し1 資格はレベル3 かつ1 資格は体積検査、1 資格は表面検査)	履修	未取得の NDI 資格のコースの履修(*)	履修
IWI-S	IWS or IWT or IWE or WES1 級	最少(限)レベル2 の2 資格(但し1 資格は体積検査、1 資格は表面検査)	履修	未取得の NDI 資格のコースの履修(*)	履修
IWI-B	IWP or IWS or IWT or IWE or WES2 級	最少(限)レベル1 の2 資格(但し1 資格は体積検査、1 資格は表面検査)	履修	未取得の NDI 資格のコースの履修(*)	履修

(*)必須受講コースの例示：相応する RT 及び PT の資格を保有の場合、UT 及び MT コースの受講が必須です。

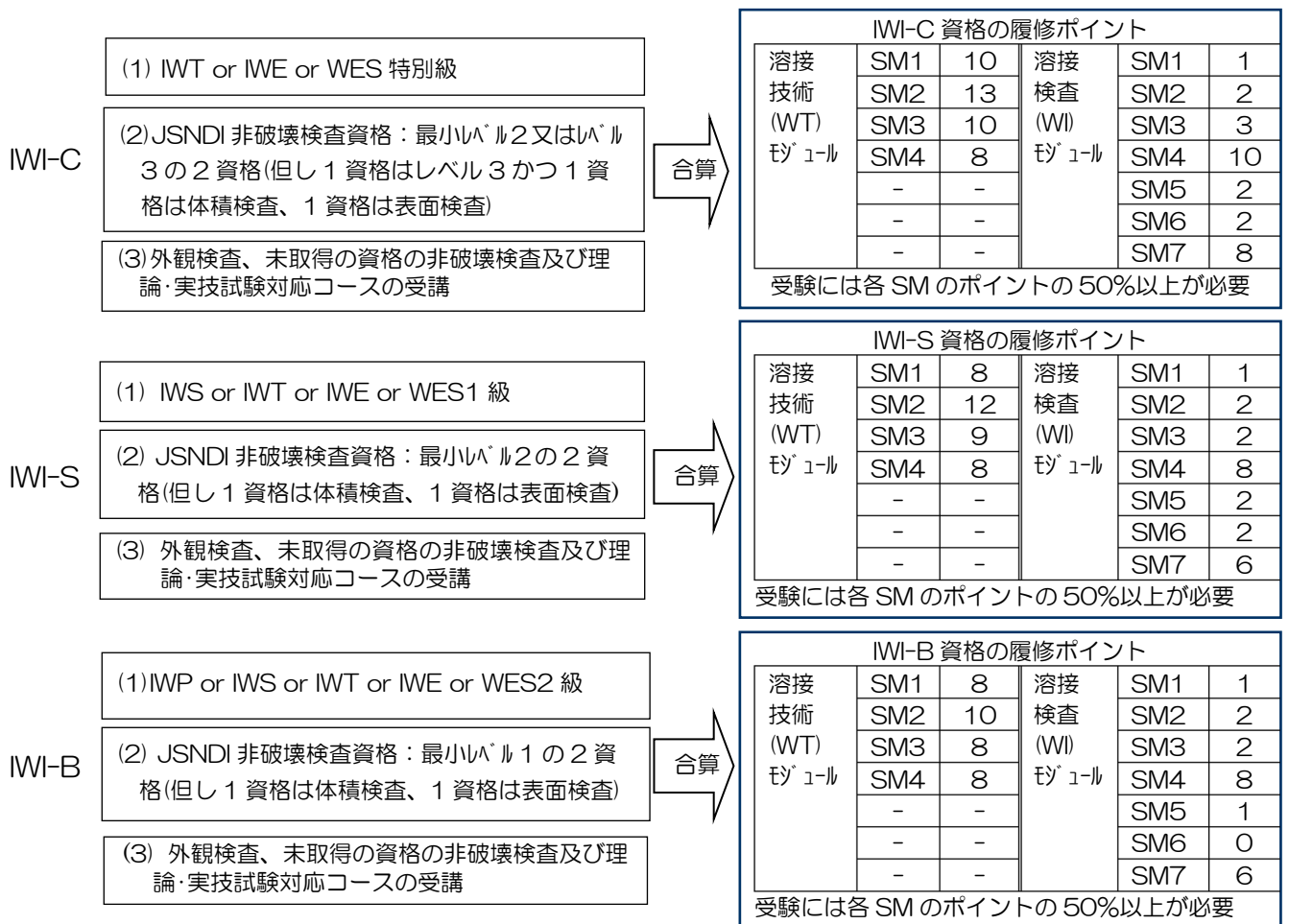


図-1. IIW 履修ポイントとその取得方法

表-3. IWIP 特認コースの履修項目とIWI 履修ポイント

〈溶接技術(WT)モジュール〉

特認コースが要求する履修項目		IWI 履修ポイント		
サブモジュール(SM) 1 (溶接法・機器)		IWI-C	IWI-S	IWI-B
111	被覆アーク溶接	2	2	2
141, 15	ティグ溶接およびプラズマ溶接	2	2	2
131, 135	ミグ溶接およびマグ溶接	2	2	2
114,136,137	セルフシールドアーク溶接, スラグ系/メタル系 FCW 溶接	1	1	1
91, 93, 97	ろう付け, アークブレーシング	1	0.5	0
81, 82, 83	ガス切断, アーク切断, プラズマ切断	0.5	0.5	1
12	サブマージアーク溶接	1	0	0
-	その他の溶接法	0.5	0	0
小 計		10	8	8

サブモジュール(SM) 2 (材料・溶接性)		IWI-C	IWI-S	IWI-B
炭素鋼および炭素-マンガン鋼 (ISO/TR 15608 分類 1-3, 11)		3	3	3
低合金耐クリープ鋼 (ISO/TR 15608 分類 4-6)		2	2	2
フェライト系ステンレス鋼およびマルテンサイト系ステンレス鋼 (ISO/TR15608 分類7)		3	2	2
オーステナイト系ステンレス鋼および2相ステンレス鋼 (ISO/TR 15608 分類 8, 10)		1	1	1
極低温用低合金鋼 (Max.10% Ni) (ISO/TR 15608 分類9)		1	1	1
アルミニウムおよびアルミニウム合金 (ISO/TR 15608 分類 21-26)		1	1	1
ニッケルおよびニッケル合金 (ISO/TR 15608 分類 41-48)		1	1	0
鋳鉄および鋳鋼 (ISO/TR 15608 分類 71-76)		1	1	0
小 計		13	12	10

サブモジュール(SM) 3 (設計・力学)		IWI-C	IWI-S	IWI-B
応力とひずみ		3	3	2
静的荷重を主とする溶接構造物の設計		1	1	2
動的荷重を受ける溶接構造物の設計		1	1	1
継手設計および溶接構造物の設計原理		3	2	2
アルミニウムとその合金構造物の設計		2	2	1
小 計		10	9	8

サブモジュール(SM) 4 (施工・管理)		IWI-C	IWI-S	IWI-B
溶接構造物建造における品質保証概論		1	1	1
製造時の品質管理		1	1	1
溶接応力および変形		2	2	2
工場設備, 治工具および取付治具		1	1	1
非破壊試験		1	1	1
補修溶接		1	1	1
健康と安全		1	1	1
小 計		8	8	8

〈溶接検査(WI)モジュール〉

溶接検査のサブモジュール(SM)		IWI-C	IWI-S	IWI-B
1	溶接検査概論	1	1	1
2	破壊試験及び非破壊試験概論	2	2	2
3	溶接不全部	3	2	2
4	破壊試験及び非破壊試験方法	10	8	8
5	品質保証	2	2	1
6	検査機能の管理	2	2	0
7	溶接検査の実務	8	6	6
小 計		28	23	20

5. IWIP 特認コースの流れ

申請から最終試験までの流れを以下に示します。

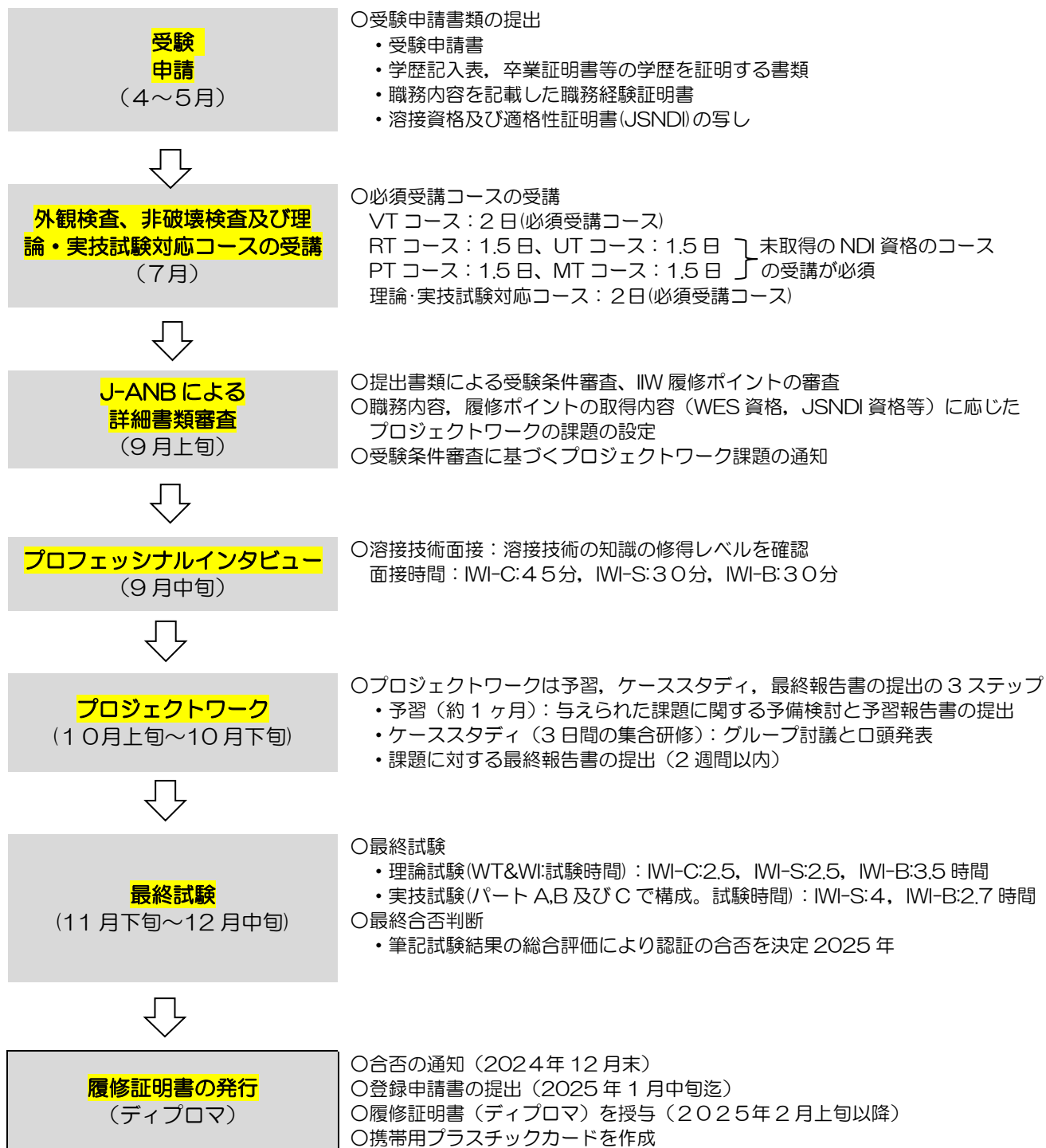


図-2. IWIP 特認コースの流れ

6. 問合せ先

(一社)日本溶接協会 事業部 J-ANB 事務局(立花) TEL : 03-5823-6325 FAX : 03-5823-5211